

2020年11月12日(木)

A会場

市民講座

[1A01-03] 市民講座

司会:今井 裕之(北九州市立大学)

司会:幾島 賢治(IHテクノロジー)

13:00 ～ 15:00 A会場 (3F・大会議室A4)

[1A01-03-01] 新しい風は西から～大学と高専の連携による

新規の高等教育～

渡辺 幸信（九州大学大学院総合理工学研究院 副研究
院長）

13:00 ～ 13:30

[1A01-03-02] 二酸化炭素の大幅な排出削減のための e-
fuelという考え方

里川 重夫（成蹊大学理工学部物質生命理工学科
教授）

13:30 ～ 14:00

[1A01-03-03] 野球の超微と石油の超微

河原 純一（愛媛マンダリンパイレーツ（四国
リーグ）監督／元読売ジャイアンツ投手）

14:15 ～ 15:00

市民講座

[1A01-03] 市民講座

司会:今井 裕之(北九州市立大学)

司会:幾島 賢治(IHテクノロジー)

2020年11月12日(木) 13:00 ～ 15:00 A会場 (3F・大会議室A4)

[1A01-03-01] 新しい風は西から～大学と高専の連携による新規の高等教育～

渡辺 幸信（九州大学大学院総合理工学研究院 副研究院長）

13:00 ～ 13:30

[1A01-03-02] 二酸化炭素の大幅な排出削減のための e-fuelという考え方

里川 重夫（成蹊大学理工学部物質生命理工学科 教授）

13:30 ～ 14:00

[1A01-03-03] 野球の超微と石油の超微

河原 純一（愛媛マンダリンパイレーツ（四国リーグ）監督／元読売ジャイアンツ投手）

14:15 ～ 15:00

13:00 ～ 13:30 (2020年11月12日(木) 13:00 ～ 15:00 A会場)

[1A01-03-01] 新しい風は西から～大学と高専の連携による新規の高等教育～

渡辺 幸信（九州大学大学院総合理工学研究院 副研究院長）

九州大学工学部では九州一円の工業高等専門学校との連携教育プログラムを開設し、大学の高等教育と先端研究力、高専の実践的教育を融合した新しい工学教育を行う。また、物質・材料工学、機械・電気電子工学などの各専門分野に加えて情報科学の高度な知識と技術を有する人材を育成し、現在の社会的課題の解決に資する。本講演では、これらの教育事業について紹介する。

13:30 ～ 14:00 (2020年11月12日(木) 13:00 ～ 15:00 A会場)

[1A01-03-02] 二酸化炭素の大幅な排出削減のための e-fuel という考え方

里川 重夫（成蹊大学理工学部物質生命理工学科 教授）

地球温暖化の主要因とされる二酸化炭素の排出を大幅に抑制するには、化石資源を利用することによる二酸化炭素の発生をゼロに近づける必要があります。そんな社会を想像したとき、石油を利用して作られる日用品や家電製品、自動車や飛行機の燃料はどのようになるのでしょうか？一つの案は再生可能エネルギー由来の電力と地球上に豊富に存在する水と二酸化炭素からe-fuelを作ることです。皆さんで未来社会の姿を考えましょう。

14:15 ～ 15:00 (2020年11月12日(木) 13:00 ～ 15:00 A会場)

[1A01-03-03] 野球の超微と石油の超微

河原 純一（愛媛マンダリンパイレーツ（四国リーグ）監督／元読売ジャイアンツ投手）

プロ野球と石油の研究分野は超微（微妙）での共通点が多い。野球では投手が操る変化球は、指先の微妙な握りで直球、カーブ、スライダー、フォークを投げ分け、打者を翻弄させて、チームを勝利に導く。一方、石油の超微は石油の分子を操る触媒の世界である。熊本市は水俣国際条約の起点であり、水銀を除去する研究は原油の選択性向上、環境負荷低減、製品品位向上等で石油産業の繁栄に大貢献する。このような、プロ野球の超微と石油産業の超微の不思議なご縁をお話する。